

栃木・茨城重度四肢外傷(第6回形成外科) 『Peer Review Web Meeting』

2022年8月14日日曜 PM 13:00-15:30 (Zoom)

演 者：

梅川 浩平 先生 (獨協医科大学 形成外科)
笠井 文博 先生 (独立行政法人水戸医療センター 形成外科)
大島 純弥 先生 (筑波大学医学医療系 形成外科)
江川 智昭 先生 (日立総合病院 形成外科)
田村 文一 先生 (筑波大学医学医療系 形成外科)

座 長：佐々木 薫 先生 (筑波大学医学医療系 形成外科)

Reviewer：鳥谷部 荘八 先生 (仙台医療センター 形成外科・手外科)

高木 信介 先生 (昭和大学医学部 形成外科学講座)

監 修：土田 芳彦 先生 (湘南鎌倉総合病院 外傷センター)

当日のご視聴方法

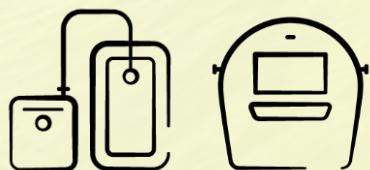
- ①URLもしくは二次元コードよりアクセスしてください。
- ②必要事項を入力いただき、登録完了後に参加URLが表示されます。
- ③登録完了です。参加用URLよりご参加ください。

お申込みサイト：

<https://forms.office.com/r/hcAbaLvShE>

二次元コード：

お申込み
二次元コード



お問合せ先

スミス・アンド・ネフュー 株式会社
メディカルエデュケーション部 吉野
Mail：sawako.yoshino@smith-nephew.com
Mobile：080-9820-1262

栃木・茨城重度四肢外傷(第6回形成外科) 『Peer Review Web Meeting』

2022年8月14日日曜 PM 13:00-15:30 (Zoom)

重度四肢外傷は迅速な対応、高い技術が求められる高難度な疾患です。しかし一方で、病院として、診療チームとして、そして医師個人として多くの課題を抱えている場合が多くあります。それらの課題を全国の先生方と共有し改善していこうという目的で、昨年8月に仙台医療センター形成外科の鳥谷部荘八先生を発起人として第1回形成外科PRMが始まりました。

1年が経ち第6回を迎える今回は、栃木・茨城という北関東の2県をまとめる形で開催いたします。両県は関東地方にありながら医師数は全国水準を大きく下回るという人的に恵まれない環境にあります。そんな状況の中で奮闘されている先生方にご発表いただきます。演者の先生方の悩みを共有しながら有意義な議論につなげたいと思います。

今回のPRMが重度四肢外傷治療に携わる先生方にとって、何らかの気づきになれば幸いです。

【座長】 佐々木薫（筑波大学医学医療系 形成外科）

【Time Schedule】

13:00-13:05	Opening remarks 筑波大学医学医療系 形成外科 佐々木薫先生
13:05-13:25	「受傷6年後に脚延長術目的に皮弁移植、血行再建を行った下肢開放骨折の一例」 獨協医科大学 形成外科 梅川浩平先生
13:25-13:45	「遊離皮弁移植術のために血行再建を行った下肢開放骨折の一例」 獨協医科大学 形成外科 梅川浩平先生
13:45-14:05	「腓骨皮弁による脛骨骨髓炎の治療経験（仮）」 日立総合病院 形成外科 江川智昭先生
14:05-14:20	Break Time
14:20-14:40	「左脛腓骨開放骨折Gastilo3Bの一例」 独立行政法人水戸医療センター 形成外科 笠井文博先生
14:40-15:00	「プレート固定と遊離皮弁移植を施行したGustilo Pilon骨折の一例」 筑波大学医学医療系 形成外科 田村文一先生
15:00-15:20	「前腕開放骨折に対して用いた遊離前外側大腿皮弁の部分壊死の一例」 筑波大学医学医療系 形成外科 大島純弥先生
15:20-15:30	Closing remarks 佐々木薫先生 / 土田芳彦先生 / 鳥谷部荘八先生